

ラディッシュ 収穫



H29.11.8



5月に初めて種まきをしてから6ヶ月、3度目の挑戦でやっと収穫することができました。なぜ実らないのか子どもたちと一緒に考え、プランターを置く場所を変えたり、水の量を調節したりと試行錯誤した結果、やっとラディッシュが実りました。この経験の中で子どもたちは陽の光が大事だという事に気づきました。プランターの場所を日がたくさん浴びれる場所に置くことでぐんぐん成長する過程を見ることが出来ました。



お日様の栄養をたくさんもらったラディッシュは大きさや身の形など違い、“ラディッシュの葉っぱチクチクする！”とびっくりした声が多く、自分たちで育て収穫したからこそその気づきだと感じました。採れたてのラディッシュを見て絵も描きました。絵本の絵を見て描いたラディッシュとは違い葉っぱの形や大きさを画用紙いっぱいに表示したり、育てるのに大事だった太陽の光や、じょうろの水など子どもたちが考えて絵に描き加える姿が見られました。



さあいよいよ実食!! さっきまで土に埋まっていたラディッシュを給食の先生に洗って切ってもらい子どもたちは大喜び。いざ食べてみると“からい!!”と顔をゆがめる子どもたち。自分で育てたから…と子どもたちにとってはとても美味しいと思える味ではなかったけれど自分たちで育てたから食べたいと口に運んでいました。今回の菜園活動を通して野菜の育っていく過程を知ると共に、その育てることの難しさ、自分が育てることのできる喜びを実感することができました。これからも食育を通して命をいただく感謝の気持ちをもてるような活動を取り入れていきたいと思います。

